

# コミュニティ・スクールの 仕組みを生かした学校づくり



文部科学省総合教育政策局CSマイスター  
神奈川県立総合教育センター教育相談専門員  
元神奈川県立市ヶ尾高等学校長

増 淵 広 美

## 本日の目標

1 自校におけるコミュニティ・スクールの  
意義を再確認する

10段階:

2 コミュニティ・スクールのイメージをさらに  
広げる

10段階:

3 自校の取組に生かせるヒントを最低一つ  
は持ち帰る

## 目 次

- 1 はじめに
- 2 学校運営協議会の機能を生かす
- 3 市ヶ尾高校の実践から
  - コミュニティ・スクールの導入
  - 学校運営協議会
  - 主な取組と成果
- 4 コミュニティ・スクールの推進に向けて
- 5 おわりに



## なぜ今、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が必要なのか

背景 時代の**変化**に伴い学校と地域の在り方が**変化**

### ◆教育環境を取り巻く状況

- 児童生徒の減少
- 子ども規範意識等への課題
- 学校が抱える課題の複雑化・困難化

### ◆社会の動向

- 少子高齢化の進行
- グローバル化や情報化の進展
- 地域社会のつながりや支え合いの希薄化による地域の教育力の低下

### ◆教育改革の動き

- 「社会に開かれた教育課程」の実現など

### ◆地方創生の動き

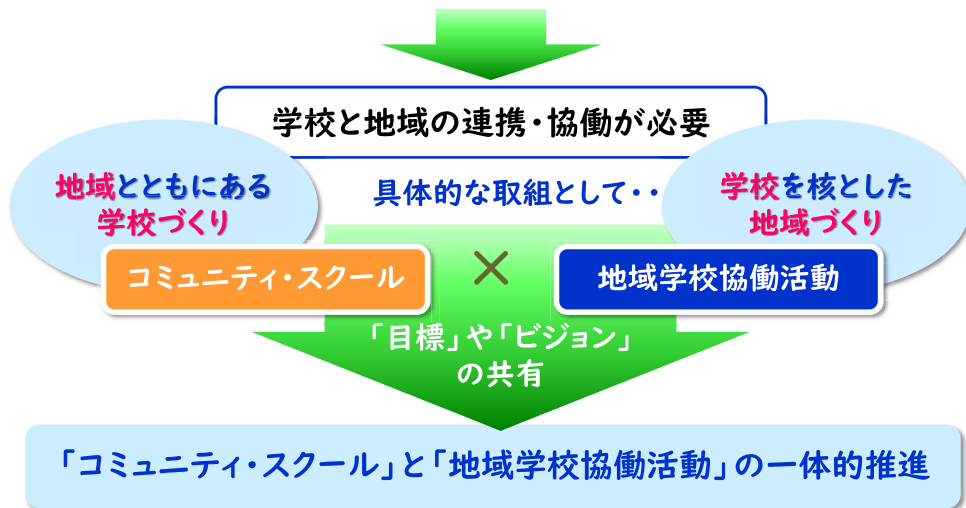
- 学校を核とした地域の活性化



今、求められるものは？

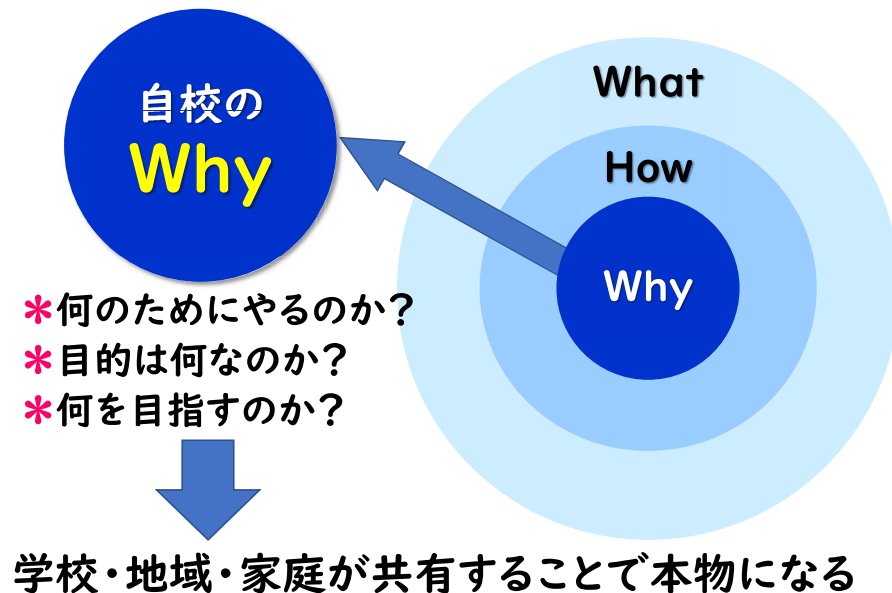
## 学校と地域の在り方が変化している今、求められるものは？

- ◆ これからの時代を生き抜く力の育成 (学校だけでは得られない知識・経験・能力)
- ◆ 地域住民が自ら地域を創っていくという「主体的な意識」への転換



5

## 「何を」やるのかではなく「なぜ」やるのか



7

## 和歌山県における導入のねらい

「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議(第5回)」(令和3年9月10日文部科学省)資料より

### 県立高校にコミュニティ・スクールを導入するねらい

※ 平成30年度 全県立学校に100%導入

- ◆ 少子化が進み高校の存続が問われる今、高校がどのようにして地域とつながり、高校を盛り上げていくのか
- ◆ 今後の高校、地域の在り方について、学校運営協議会で議論
- ◆ 高校の存在価値について地域とともに考える事で、高校が進化

⇒ 高校と地域とのつながりがこれまで以上に必要  
(地域に高校がある事で、地域活性化が期待)

⇒ **コミュニティ・スクールとして、県立高校の再編等に対応することができる**

6

## ワーク ①

(Q) 皆さんの学校では、なぜコミュニティ・スクールの仕組みを生かそうとしていますか？

(A)



8

1 はじめに

2 学校運営協議会の機能を生かす

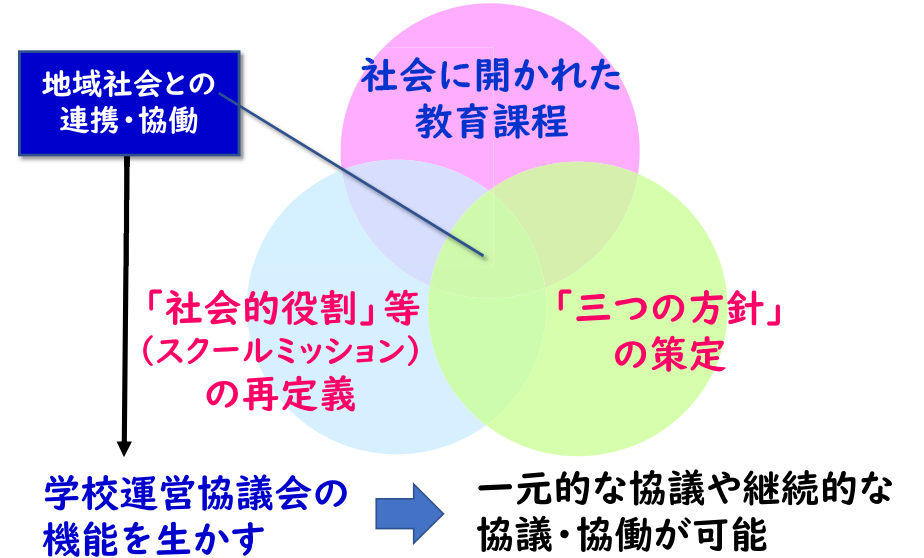
3 市ヶ尾高校の実践から

- コミュニティ・スクールの導入
- 学校運営協議会
- 主な取組と成果



4 コミュニティ・スクールの推進に向けて

5 おわりに



(令和2年11月13日中央教育審議会初等中等教育分科会 他)

新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ審議まとめ(概要)  
～多様な生徒が社会とつながり、学ぶ意欲が育まれる魅力ある高等学校教育の実現に向けて～

(令和2年11月13日)

第1章 高等学校教育を取り巻く現状と課題認識

- 高等学校には多様な入学動機や進路希望、学習経験を持つ生徒が在籍している現状を踏まえた教育活動が極めて重要
- 高校生の学校生活への満足度や学習意欲は中学校段階に比べて低下しており、高校生の学習意欲を喚起するためのものと転換することが必要
- 大学入学や就職等の出口のみを目標とすると、他分野に関する理解や、新たなことを学び、挑戦する意欲を育むための学びが不可欠
- 産業構造や社会システムの激変、少子化の進行等の社会経済の有り様を踏まえ、高等学校教育の在り方の検討が必要

第2章 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を通じて再認識された高等学校の役割・在り方

- 学習機会と学力を保障するという役割のみならず、生徒にとって安全・安心な居場所を提供するという福祉的機能や、社会性・人間性を育むといった社会的機能も有するといふ高等学校の多面的な役割・在り方を再認識
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、生徒が長期間登校できない状況下において、ICTも最大限活用した学習保障の必要性が顕在化
- 遠隔・オンラインか対面・オフラインかという二元論に陥らず、最適な組合せによって、全ての生徒の可能性を引き出す学びの実現が必要

これらの前提を踏まえ、以下の方策を実施

第3章 高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化に向けた方策

【1. 各学科に共通して取り組むべき方策】

- (1) 現代的な諸課題に対応し、20年後・30年後の社会を見据えて必要となる資質・能力の育成
  - 国内外の大学、企業、地元市町村等の関係機関と連携した高度かつ多様な学びの提供
- (2) 地域の実態に応じた多様な高等学校教育の実現
  - 中山間地域・離島等に立地する小規模高等学校が教育課程の共通化・相互互換を図ることで、地理的制約を超えて教育資源を効果的に活用
  - 都道府県は、地元市町村等との丁寧な意見交換を通じて公立高等学校の在り方を検討。その際、総合教育政策会議を活用した首長部局との連携も有効
- (3) 各高等学校の存在意義・社会的役割等の明確化(スクール・ミッションの再定義)
  - 各設置者が、各高等学校の存在意義や社会的役割、目指すべき学校像をスクール・ミッションとして再定義
- (4) 各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針(スクール・ポリシー)の策定
  - 各高等学校は、高等学校教育の入口から出口までの教育活動を一貫した体系的なものに再構築するため、「育成を目指す資質・能力に関する方針」「教育課程の編成及び実施に関する方針」「入学者の受入れに関する方針」(仮称)を策定・公表
- (5) 地域社会や高等教育機関等の関係機関と連携・協働した学びの実現
  - 各高等学校の目的を踏まえ、地域社会や高等教育機関等との連携・協働を推進(例：地元市町村等との協働体制であるコンソーシアムの構築)

第3章 高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化に向けた方策  
【2. 学科の特質に応じた教育活動の充実強化】

(1) 普通科改修

- 各設置者の判断により、「普通教育を主とする学科」として、下記のような特色・魅力ある学科の設置を可能化

【学際的な学びに重点的に取り組む学科】

- …SDGsの実現やSociety5.0の到来に伴って生じる諸課題に着目し、国際社会及び日本社会における課題の発見・解決に資する資質・能力を育成
- …国内外の高等教育機関や国際機関、国の機関等との連携・協働により、大学教育の先取り履修や高大連携講座の仕組みの構築などを実施

【地域社会に関する学びに重点的に取り組む学科】

- …地元市町村を中心とする地域社会の有する課題・魅力に着目し、地域社会の持続的な発展や価値の創出に資する資質・能力を育成
- …地元の市町村、高等教育機関、企業・経済団体等との連携・協働により、フィールドワークや事例研究、社会人講座などを実施

【その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科】 …上記2学科を参照しつつ育成を目指す資質・能力を設定し、関係機関との連携・協働した教育を実施

(2) 専門学科改修

- 産業界を核として地域の産官学が一体となって、将来の地域産業界・高等学校段階での人材育成の在り方を検討し、それに基づく教育課程を開発・実践
- 産業教育施設・設備の計画的な整備、これを支える財政的措置の充実、地元企業の施設の活用等の工夫による最先端の施設・設備に触れる機会を創出

(3) 新しい時代に求められる総合学科の在り方

- 多様な科目開設を実現するために、ICTも活用して他校の科目を履修して単位認定する仕組みの活用や、外部人材の活用を推進

第4章 定時制・通信制課程等における多様な学習ニーズへの対応と質保証

【1. 定時制・通信制課程等における多様な学習ニーズへの対応】

- 制度創設時と異なり勤労青年に限らず多様な生徒が在籍している定時制・通信制課程の現状を踏まえ、多様な生徒のニーズにきめ細かく対応するため、SC・SSW等の専門スタッフの充実、関係機関等との連携促進、ICTの効果的な活用、少年院在院者への高等学校教育機会の提供等を推進

【2. 高等学校通信教育の質保証方策】

(1) 教育課程の編成・実施の適正化

- 各年度における添削指導・面接指導・試験の年間計画等を「通信教育実施計画」(仮称)として策定・明示することを義務付け
- 面接指導は少人数で行うことを基幹とすることや、集中スクーリングにおいて1日に実施する面接指導の時間を適切に定めること、多様なメディアを利用して行う学習の報告課題等に対する観点別学習状況の評価の実施、試験の実施時間・時期を適切に設定することなどを明確化

(3) 多様な生徒にきめ細かく対応するための指導体制の充実

- 養護教諭、SC・SSW等の専門スタッフの充実や関係機関等との連携促進を図るとともに、きめ細かく指導・支援を実現するための教諭等の人数を明確化

(4) 主体的な学校運営改善の徹底

- 法令に基づく学校評価の実施・公表の徹底とともに、「自己点検チェックシート」(仮称)に基づく自己点検の実施・公表
- 教員・生徒・教育課程・施設設備等に関する学校の基本情報の開示を義務付け、ICTを基盤とした先端技術の効果的な活用に向けた実証研究を実施

(2) サテライト施設の教育水準の確保

- 実施校の責任下におけるサテライト施設の把握・管理、情報開示の徹底、面接指導等実施施設の共通の基準に関して実施校と同等の教育環境を確保

# コミュニティ・スクールの要は学校運営協議会

コミュニティ・スクールに指定された学校

一定の権限を有する合議制による  
教育委員会の下部組織

「学校運営協議会」を設置



## 委員

- 保護者や地域の方々、学識経験者などから教育委員会が任命
- \* 校長が自ら人選した委員(校長を含む)を教育委員会に推薦  
➡ 教育委員会が校長を委員に任命・他の被推薦者は委嘱状により委嘱
- \* 学校運営委員会委員の身分=地方公務員法上の特別職の地方公務員

## 主な機能

✕ ➡ Let's

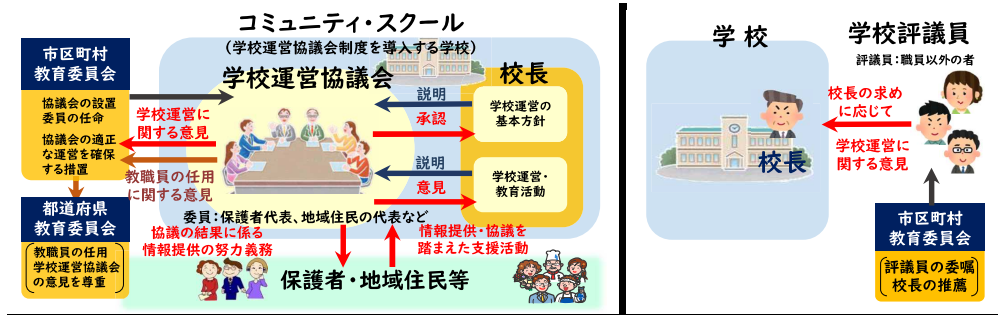
### 【基本方針】

- (1) 学校の教育計画
- (2) 教育課程
- (3) 学校組織の編成
- (4) 学校予算の執行
- (5) 学校施設・設備の管理・整備

- 学校運営の基本方針を承認する。【必須】
- 学校運営について意見を述べるができる。【任意】
- 教職員の任用について意見を述べるができる。【任意】

学校運営協議会として機能させる ≠ 学校評議員会

# 『学校評議員制度』と『学校運営協議会制度』との相違



地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5  
(令和2年3月改正)

保護者や地域の方が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することにより、「目標やビジョン」を共有して、社会総がかりで子供たちの健全育成や学校運営の改善に取り組む「地域とともにある学校づくり」をめざす仕組み。

学校教育法施行規則第49条  
(平成12年4月1日施行)

開かれた学校づくりを推進していくため、保護者や地域住民等の意向を反映し、その協力を得るとともに、学校としての説明責任を果たす。

協議体の設置(校長の運用によらない)	継続性の観点	校長の異動に左右
協議体による組織的な活動の広がり	組織的活動の観点	想定していない
法令等に基づき役割(権限)が明確化	役割の明確化の観点	校長中心の運用
主体的参画による連携・協働性が向上	連携・協働性の観点	第三者的関わり

「学校評議員会」から  
「学校運営協議会」へ

## ポイント(1)

### ● 委員の選定

- 校長のビジョン・経営方針に沿った人材
- 当事者意識を持って参画して下さる方
- ともにアクションを起こして下さる方

### ● 「熟議」の活性化

- テーマの明確化
- 経験や強みを生かした対等な立場での熟慮と議論
- ファシリテーションスキル

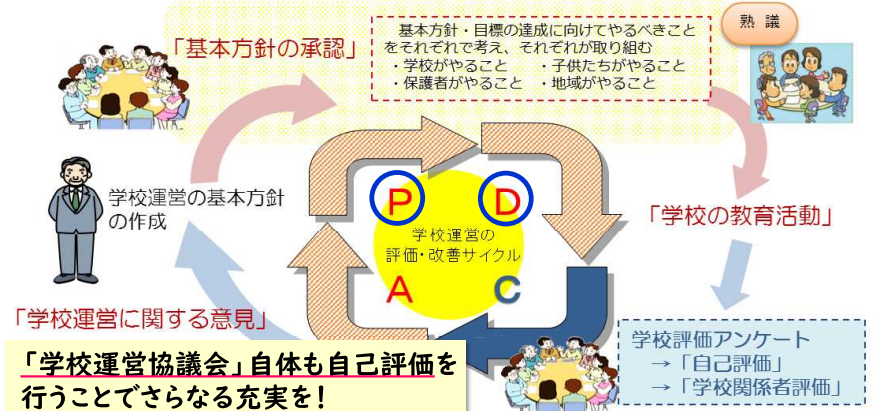
### ● 「協働」によるアクション

- 熟議結果の具現化(学校経営、教育活動等への反映)
- 小さな成功の積み重ね
- 校内・校外への発信(情報の共有、理解の広がり)

「学校評議員会」から  
「学校運営協議会」へ

## ポイント(2)

### ● マネジメント



「学校運営協議会」自体も自己評価を行うことでさらなる充実を!

学校運営協議会の機能として、教育委員会規則に学校評価の機能を位置付けている割合は約8割に至っています。発展的な例では、学校運営協議会の部会に学校評価部会を設け、組織化しているところもあります。

# 目次

- 1 はじめに
- 2 学校運営協議会の機能を生かす
- 3 市ヶ尾高校の実践から
  - コミュニティ・スクールの導入
  - 学校運営協議会
  - 主な取組と成果
- 4 コミュニティ・スクールの推進に向けて
- 5 おわりに



# コミュニティ・スクール導入の背景

- ▶ 「**かながわ教育ビジョン**」(平成19年8月策定)
  - 明日のかながわを担う人づくりを進めるための総合的な指針(本県の教育の総合的な指針)

## 生涯を通じた教育・人づくりが重要な柱

「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月閣議決定)  
⇒ 「自立」「協働」「創造」の3つの理念の実現に向けた生涯学習社会の構築

平成27年10月改定



## 学びを通じた地域の教育力の向上(重点項目Ⅲ)

- 社会教育施設や学校等を活動した地域での学びの場づくりの推進
- 地域力を生かしたコミュニティ・スクールの普及と充実

# 市ヶ尾高校の概要

## 昭和49年開校 全日制普通科(学年制)

横浜市北部(青葉区) 田園都市線「市が尾」駅 徒歩15分

定員規模

**1,200名**

伝統・校風

自主・自律の精神  
文武両道・文武協働  
部活・生徒会行事が盛ん

各学年 **10クラス** 部活動加入率 **85%**



## ▶ 「**県立高校改革実施計画**」(平成28年1月策定)

計画期間:平成28年度から12年間(I期~Ⅲ期)

※ 全ての県立高校が改革に取り組む

## 改革の柱2 学校経営力の向上

### ● 重点目標5

「地域の新たなコミュニティの核となる学校づくりを進めます」

・地域協働による学校運営の推進

### 神奈川らしいコミュニティ・スクールの導入

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	学校運営協議会の指定 (5校指定)	(25校指定)	(75校指定)	(全校指定)

※ 校数は累計値を示す。

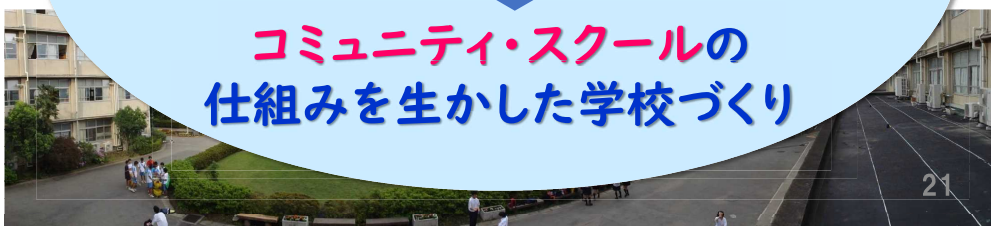
● 平成29年度:本校を含む21校を新たに指定(累計26校)

「社会の中核たる人材」を育成する

- 社会の変化に対応する資質・能力を育成する。
- 社会的・職業的自立と進路実現を両立させる

進路実現の先にある  
**これからの社会に通じる  
 本物の力**を育みたい

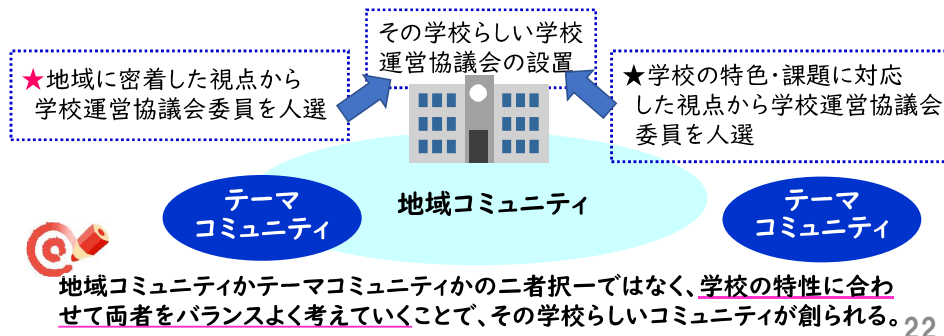
↓  
**コミュニティ・スクールの  
 仕組みを生かした学校づくり**



小・中学校のような「地域」の考え方だけでは取組がむずかしい

↓  
 ゆるやかな「地域」の概念

- **地域コミュニティ**・・・地域密着型の協議会を設置
- **テーマコミュニティ**・・・学校の特色・課題に応じた協議会を設置



市ヶ尾高校での導入に向けての期待

● **学校経営力の強化**

学校運営協議会委員の人選が導入時の最重要事項

- ◆ 委員の経験等を通して様々な視点から熟議が行われることで、より機動力のある効果的な学校経営を可能とする。

● **教育活動の充実**

- ◆ 外部の資源(人材、施設等)を生かし、社会につながる多様な学びを提供することにより、これからの社会に必要な資質・能力の育成に資する。

※ 当面は、社会参画意識の育成を重点化

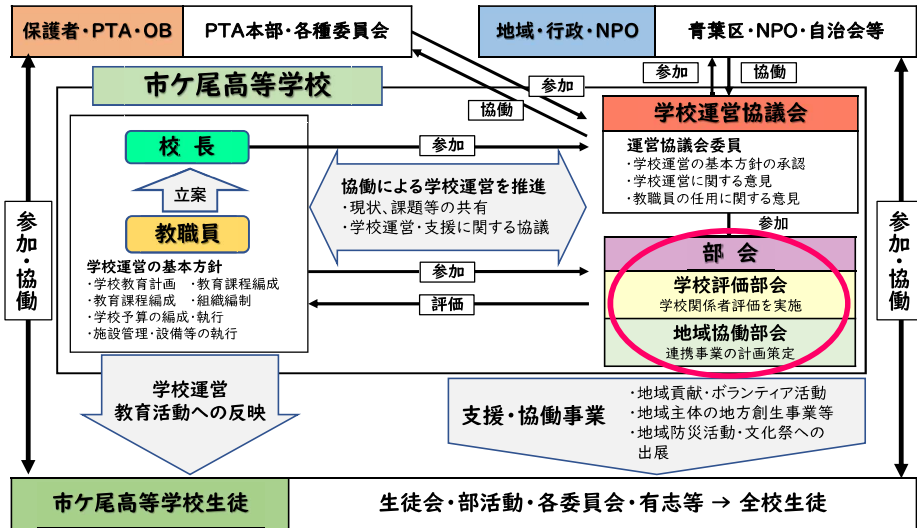
● **学校・地域・保護者の協働の活性化**

- ◆ これまで以上に連携が強まり、協働が活性化することで相互理解が深まり、新たな相乗効果が生まれる。

➡ 「地域とともにある学校」「チーム学校」の実現



# コミュニティ・スクール実施体制



部会：学校評価部会（神奈川県では必置）+地域協働部会  
（各校独自の部会）

## 目次

- 1 はじめに
- 2 学校運営協議会の機能を生かす
- 3 市ケ尾高校の実践から
  - コミュニティ・スクールの導入
  - 学校運営協議会
  - 主な取組と成果
- 4 コミュニティ・スクールの推進に向けて
- 5 おわりに



## 平成30年度 学校運営協議会全体計画

学校教育目標：社会の中核たる人材の育成				
《社会の変化に対応する能力・資質の育成》 《社会的・職業的な自立を視野に入れた進路実現》 《地域や保護者に信頼される開かれた学校づくりの推進》				
視点1:教育課程・学習指導	視点2:生徒指導・支援	視点3:進路指導・支援	視点4:地域等との協働	視点5:学校管理・学校運営
①教育界の動向や生徒の実態を踏まえたカリキュラム・マネジメント ②豊かな学力と学び続ける力を育む ③多様な授業改善	①基本的な生活習慣、規範意識、いじめを大切にする心の醸成 ②自主・自律の精神の醸成 ③多様な困難に 대응する組織的な支援体制	①進路実現に向けて主体的に取り組む態度と能力の育成 ②ガイダンス機能と相談支援体制の充実	①地域・保護者との連携強化と地域の教育力の活用 ②地域や保護者に信頼される、開かれた学校づくりの推進	①多様な課題に協働的に取り組む学校運営の実践 ②校内実証 ③防災体制の強化及び事故・不祥事防止の徹底 ④校内の施設・設備を調査し、有効に活用できるようにする。 ⑤組織的な防災体制を強化し、災害時に地域と連携した対応が実行できるようにする。
今年度の目標	①生徒に身につけてほしい力を明確にした教育課程の運用を行う。 ②生徒の確かな学力と学び続ける力を育み、生徒が自ら課題を発見し解決するための思考力、判断力を育成する組織的な取り組みを行う。	①いじめを未然に防ぐための取り組みを行う。 ②進路実現に向けた取り組みを行う。	①地域や保護者との連携強化と地域の教育力の活用 ②地域や保護者に信頼される、開かれた学校づくりの推進	①多様な課題に協働的に取り組む学校運営の実践 ②校内実証 ③防災体制の強化及び事故・不祥事防止の徹底 ④校内の施設・設備を調査し、有効に活用できるようにする。 ⑤組織的な防災体制を強化し、災害時に地域と連携した対応が実行できるようにする。
月	4			3
学校運営協議会 (10名)	5月 学校運営協議会 3/23 (土) 今年度の目標に関する年度計画 ○学校運営に関する平成31年度基本方針の承認 ○今年度目標の進捗状況の把握			5月 学校運営協議会 3/23 (土) 今年度の目標に関する年度計画 ○学校運営に関する平成31年度基本方針の承認 ○今年度目標の進捗状況の把握
地域協働部会 (12名)	1-① 4-①・② 5-② 1-②	2-② 4-①・② 5-② 1-②	2-② 3-① 4-①・② 5-② 3-③ 4-③	1-① 4-①・② 5-② 4-④ 5-④
評価部会 (8名)	第1回評価部会 学校評価の方法・日程についての協議	第1回地域協働部会 地域貢献活動、生徒の志望の場についての協議	第2回評価部会 授業評価・学校評価アンケート等による評価	第2回地域協働部会 地域貢献活動の進捗及び課題解決のための具体的な方策の策定

年度当初に  
年間開催日程を設定

調整業務の削減  
出席率の上昇

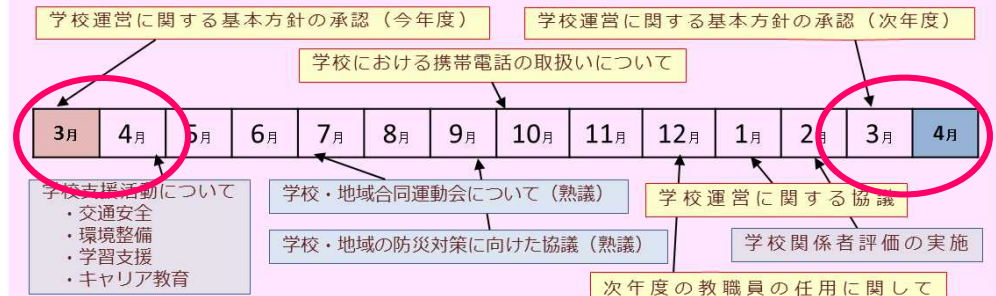
## 校長が替わっても「学校運営基本方針」が継続される



校長が作成する「**学校運営の基本方針の承認**」を**3月（前年度末）まで**に行うことで、**年度初めから継続的な学校運営、及び地域連携教育が可能となる。**

例

【学校運営協議会・部会（委員会）開催計画：例】



## 学校運営協議会での協議内容

～教職員・保護者・地域住民、時々生徒、みんなで共有～

未来志向	①情報の共有 (未来に向けて)	②目標・ビジョンの共有 (未来に向けて)	③手段の共有 (未来に向けて)
課題解決	①情報の共有 (課題)	②課題の共有 (原因)	③手段の共有 (対策・課題対応)

29



## 熟議 (平成30年度第3回学校運営協議会より)

### テーマ 防災教育・防災活動の充実

東北スタディツアー(被災地訪問)に参加した生徒から問題提起

3つのグループに分かれ四者(協議会委員、生徒、保護者、教員)による熟議

全体共有(グループの発表)



成果:避難訓練での生徒による防災講話、避難経路の工夫、備蓄品整備等

### 熟議の工夫

- 毎回1テーマを設定(重点化)(事前にテーマと資料を共有)
- 委員長と毎回事前の打合せを実施
- 活性化の工夫(参加メンバーの工夫、ホワイトボードや付箋の活用等)



30



## 熟議「防災」以降の活動 ～自走する生徒たち～

地域の防災訓練に参加



ボランティアセンター立ち上げ訓練に参加

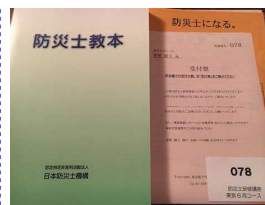


防災訓練で生徒全員に防災講話をした生徒は、卒業後、「防災士」を目指して勉強中。

まずは自分の防災力を高めること。  
そして地域に役立つ人になる。

防災士になる。  
頑張るぞ。

本人のFacebookより



31

## 目次

- 1 はじめに
- 2 学校運営協議会の機能を生かす
- 3 市ヶ尾高校の実践から
  - コミュニティ・スクールの導入
  - 学校運営協議会
  - 主な取組と成果
- 4 コミュニティ・スクールの推進に向けて
- 5 おわりに



32



# グローバル・リーダーシップ講座(国際理解勉強会)

## ～学校運営協議会から生まれた新たな学び～

グローバル企業での経験豊かな学校運営協議会委員による国際人になるための基礎的素養を学ぶ講座を開講。



回	活動日	テーマ	勉強の目的・内容など
1	5月25日(金)	キックオフ&オリエンテーション	・勉強会の目的、学ぶ姿勢・基本教科との関係
2	6月8日(金)	めざせグローバル・リーダー	・国際人とは・国際人への道筋・リーダーの資質
3	6月22日(金)	ダイバーシティ(多様性)とハラスメント①	・日本人にとって「多様性」の理解は国際人への第一歩 ・国際人とは語学力以前に「多様性」に対する寛容度 ・「ハラスメント」にもっと敏感になろう
4	7月13日(金)	同上②	
5	7月20日(金)	異文化コミュニケーション①	・国際人の基本は「異なる立場でモノを考える力」と「コミュニケーション力」
6	9月14日(金)	同上②	・なぜ英語を学ぶ必要があるのか
7	9月21日(金)	心得ておきたい国際マナーの基本①	・マナー/エチケット/プロトコルとは
8	10月5日(金)	同上②	・習慣、仕事どころ変われば①
9	11月9日(金)	同上③	・紳士、淑女の国際マナー、レディーファースト実践② ・品格が問われる食事のマナー③
10	11月16日(金)	紳士(Gentleman)とは	・マナーの応用編。“英国紳士”の精神とは
11	12月7日(金)	武装中立国スイスの生き方に学ぶ	・スイスの生き方から日本の姿を考える
12	1月11日(金)	これからの国際ビジネス	・AI時代のビジネスはどう変わる・進路選択のヒント
13	1月25日(金)	『7つの習慣』に学ぶ成功の秘訣&贈る言葉	・成功には原則あり・何よりも“人間力”を磨こう

生徒・保護者・地域の人々に広く開かれた講座(県議会議員・県高校教育課・NPO法人等多数来校) 33

# 食ラボ・市ケ尾高校 ～食から世界を考えよう～

食をとおして、地球温暖化、フードロス等の世界規模の環境問題や身近な地域での地産地消などについて学びを深める講座。地域住民との協働により、多世代交流をとおして地域についての理解を深める。

**問題提起**

食と地球環境とのつながりを考えよう

**調査・分析・提案**

現状把握  
家庭や地域で実践できること  
ガイドブック作成

**行動**

クッキング講座  
※ CO2排出や食材ロスの少ない調理を実習

学校・地域・NPO・大学の  
四者協働による取組

慶應義塾大学SFC 藤網林研究室  
地理に着目した地域の環境問題、コミュニティ活用の社会研究など。

一般社団法人スマート・ウィメンズ・コミュニティ  
「持続可能な暮らし」をテーマに女性たちが食育講座等の普及啓発を行う。  
2015年 環境大賞受賞。  
代表 東みちよ氏は市ケ尾高校OG

食から世界を考えよう

特別教育プログラム **食ラボ・市ケ尾**

参加者募集

食をとおして、地球温暖化、フードロスの世界規模の環境問題や、身近な地域での地産地消などについて学びを深める講座です。また、地域住民との協働により、多世代交流をとおして地域についての理解を深める。地域住民との協働により、多世代交流をとおして地域についての理解を深める。

＜スケジュールと講座内容＞

11月14日(水) 15時40分～ 大学・NPOによるクッキング・国際講座  
慶應義塾大学SFC 藤網林研究室 藤網林研究室の職員、ゲストによるクッキングを行います。

12月12日(水) 15時40分～ 調査・提案のガイドブック作成最終  
生徒主体による調査を、大学・NPO・地域がサポートします！  
・調査結果に基づき食育やフードロス削減の啓発活動を行う。  
・調査結果に基づき食育やフードロス削減の啓発活動を行う。  
・調査結果に基づき食育やフードロス削減の啓発活動を行う。

1月14日(月・祝) 15時40分～ 調査・提案のガイドブック作成最終  
※ 参加費無料(500円程度の材料費)。

34

# 大学生との対話の広場 ～充実した大学生活に向けて～

第8回 **スタディーアップ 講演会**  
開催のお知らせ

■今回のテーマ **大学生と語ろう 2**  
～「横濱生がやってくる」/進路選択と大学生生活のリアル～

こんなことを話します！

- ・私たちが横浜市立大学に入学するまで一進路選択から大学受験
- ・横浜市立大学での学び
- ・大学生活の過ごし方 授業・ボランティア・チャリティー活動など選択はたくさん!
- ・これから自分の進路を歩んでいく高校生へのメッセージ

私たちが語ります!

■講師 横浜市立大学の学生 2名  
国際総合科学部国際都市学系グローバル化推進コース2年  
国際総合科学部国際都市学系経済コース3年

こんな人におすすめです!

- ・進路に悩んでいる。受験のアドバイスを聞きたい。
- ・横浜市立大学など、国公立大学の進学を考えている。
- ・大学生生活を有意義に過ごしたい。いろいろなお話にチャレンジしてみたい。
- ・国際力を学んでみたい。経済学を学んでみたい。

進路選択や受験期を乗り越えて、いま充実した大学生活を過ごしている大学生だからこそ、役立つヒントがたくさん! 座談会形式でみなさんの疑問にもお答えします!

**3月15日(木) 14:00～15:00**  
当日は40分授業3時間制です。

進路公開室 (中央館3階)

参加費無料は中心費を「進路公開室」へ提出してください。中心費は進路公開室にもあります。保護者の方のご参加も歓迎いたします。問合せは、キャリアアドバイザー 川畑 まで

ICHIGAO H.S. CAREER INFORMATION & SUPPORT GROUP



学生ソーシャルワーカープログラム  
「マイプロ for KANAGAWA」との連携

※「マイプロ」はNPO法人マネージャーを務める学校運営協議会委員が関わるプログラム

35

# 市ケ尾ユースプロジェクト (まちの未来づくりプログラム)

区役所 **青葉区役所**

NPO法人  
**まちと学校のみらい**

中高生と地域の大人が連携・協働してまちの課題や魅力アップを考える!

1 **若いアイデア**  
中高生

中高生の持っている力・潜在能力は高いが**地域や社会とつながる体験・教育活動は少ない**

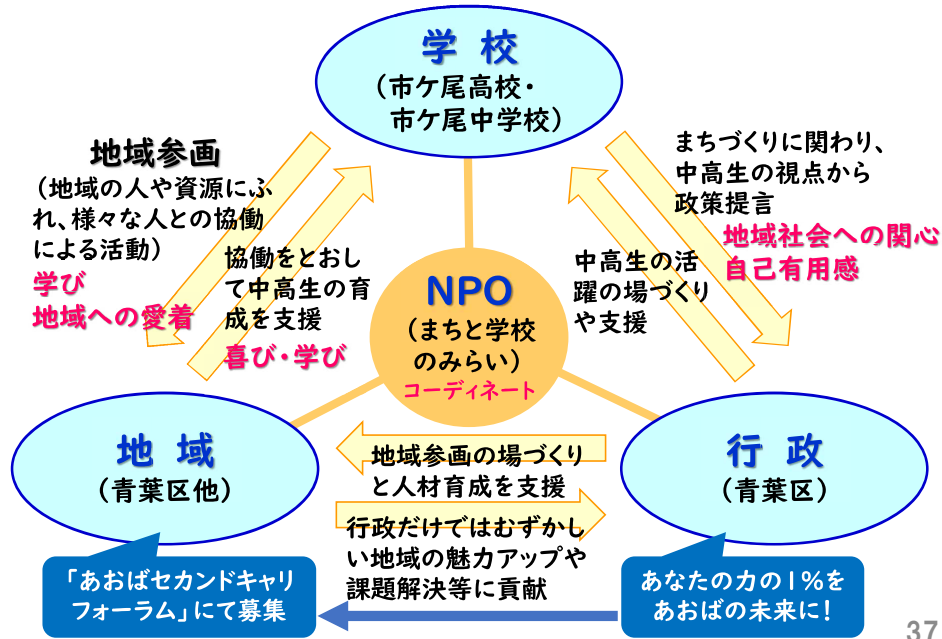
2 **豊富なスキルや経験**  
地域の大人

青葉区には様々な経験とスキルを持った人材がいるが**地域の子供も・若者育成に生かされていない**

ユースプロ

36

# 市ケ尾ユースプロジェクトの推進体制



## 活動のねらい

～育成の視点から～

様々な年代、立場の人々との多様な経験をととして

- 主体的に判断し、多様な人々と協働して新たな価値を創造する力
- 地域・社会への関心・課題意識・参画意識
- 自分たちが動くことで何かが変わるといふ確かな手応え
- 共に活動する大人から学ぶ 他の精神・学び続ける姿勢

市ケ尾中学校・市ケ尾高校の生徒による まちと学校の未来づくり プログラム (市ケ尾ユースプロジェクト) 参加生徒募集!

中高生ならではの柔軟な発想力と行動力で「あおばの魅力アップ」にチャレンジ!  
青葉区に住む、豊かな経験をもつ大人たちと中高生が力を合わせ、まちづくりの課題解決やまちの魅力アップに取り組みます。

具体的な活動は、  
中高生が地域の大人たちと力を合わせ、その実現に挑戦します!  
のたとえば、...  
「イマドキ」...

**中高生の主体性を発揮させるための大人の在り方**

【日程】 6月下旬 中高生合同オリエンテーション @市ケ尾高校  
8月3日(木) 10時～15時 企画ワークショップ @市ケ尾高校  
【参加申込・問合せ】各クラスの担任まで。  
◎主催：青葉区役所、NPO法人まちと学校の未来いキョリセン

■まちの未来づくりプログラム(市ケ尾ユースプロジェクト)申込書 ★6月15日(木)必切

年 組 番 生徒氏名: 保護者氏名:

## 中高生・サポーターの活動に向けて

### 導入時(平成29年度)に行ったこと



- 5.24 市ケ尾中学校 教職員研修会
- 6.2 市ケ尾高校 高校生対象キャリアアップ講演会
- 6.27 市ケ尾高校 教職員研修会

### 7.8 「あおばセカンドキャリアフォーラム」 第1回 ワークショップ「次世代の育成」(大人)

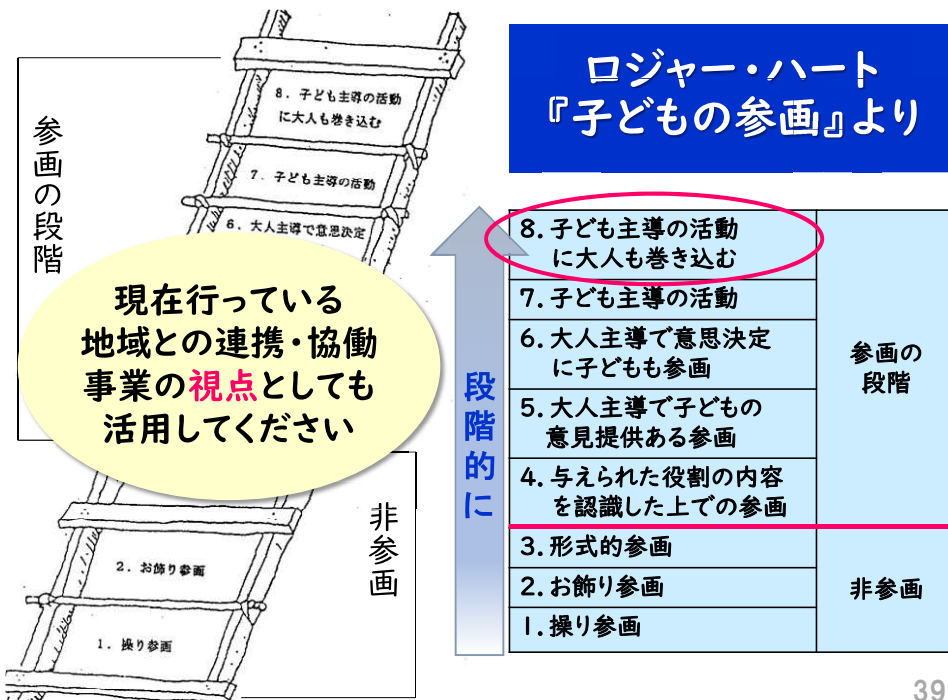
### 7.12 中高生のためのオリエンテーション

### 7.17 第2回ワークショップ(大人)

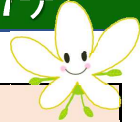
### 8.3 第3回ワークショップ(合同)

大人だけの研修会

以降、チームに分かれて活動



## 課題解決のための5つのチーム（2017）



ICHIグルメ	【地元野菜を使った食生活】 地元野菜を使ったグルメ商品開発、あおばマルシェ・野菜直売所の紹介リーフレット作成
わっしょい!	【わ(わいわい)・つ(伝えよう)・し(知ろう)・よ(寄ろう)・い(市ケ尾)】(地元商店の活性化) スタンプデザイン募集、スタンプラリー実施
まちに咲く花	【青葉区マスコット「なしかちゃん」の認知度向上】 「なしかちゃん」グッズ作製
こんなのありかなしか	【動画による「なしかちゃん」と市ケ尾地域紹介】 青葉区のPR動画の制作
絆(きずな)	【多世代交流による地域の活性化】 中高生が教えるシニア向けスマートフォン講習会

41

## 課題解決のための7つのチーム（2018）

まちづくり	【住み続けたいまちづくり】アンケート調査・調査結果に基づく意見交換、提言書作成等
まもる	【まちの安全・安心】「市ケ尾危険マップ」制作、意見交換(土木事務所、町内会長)等
Linkage	【バリアフリーのまちづくり】障がい児との交流イベント開催、施設訪問等
Peeeya・おいでよ市ケ尾	【SNSを活用したまちの魅力発信・PR】 「インスタ映えマップ」制作、ツイッターにアップ
イートイン市ケ尾	【まちのグルメ(地産地消)】 アンケートに基づくスイーツを企画・販売等
老若男女	【まちのみんなを元気にする】 各種イベント参加、調査、PR等
ユース広報部	【まちに興味・関心・愛着をもってもらう】 市ケ尾ユースプロジェクトの取組・活動発信、地元ラジオへの出演、「広報よこはま」への連載等



42

## 市ケ尾ユースプロジェクト チーム「まもる」



区役所地域振興課との意見交換



区役所にて取材



地域にてフィールドワーク



プロボノとして活動するデザイナーとアンケート作成の打合せ



アンケート集計

(危険な場所にシールを貼付)



土木事務所との意見交換



自治会長との意見交換

43

## チーム「まもる」参加者の声

### 生徒の感想

市ケ尾に住んでいながら、まちのために何もしたことがなかったし、誰かがやってくれるだろうと思っていたが、自分の発想や発信が市ケ尾のまちを豊かにしていくことを知った。

このチームに入った時は、自分の力では何も変わらないのではないかと、中高生と大人が上手にやっていたのになど、期待よりも不安が多かったが、活動を続けていくうちに、「誰かの役にたつかもしれない!」と思うようになった。

### サポーターからのメッセージ

スタートから共通の明確な課題意識があり、早期に活動プロセスをイメージし、中高生5人がチームとして自立的に活動したことに驚いた。夏休み中に集まってアンケート案を考えたり、膨大なアンケート集計方法も自分たちで工夫していた。区役所や地域の方にプレゼンする機会を重ね、次第に自信にあふれ表情は輝いていた。自ら考え、工夫し、協力するプロセスが、このような力を生むことを知り、サポートする立場ながら学ばせていただいた。

「市ケ尾ユースプロジェクト 平成30年度報告書」より一部抜粋

44

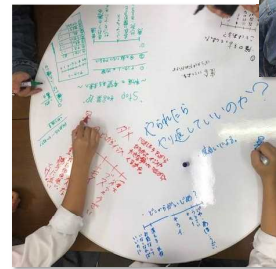
## 課題解決のための6つのチーム（2019）

まもる2	【安心して住み続けられるまちづくり】地域防災実態調査、放課後児童クラブでの防災教室等
笑ケ顔	【地域交流・世代交流】自治会夏祭り・区民まつりへの企画・参加、地域振興課へのインタビュー等
つながり	【共働き世帯等の子どもと中高生の交流】コミュニティカフェ、地域ケアプラザ、放課後児童クラブ等の訪問・交流、バリアフリーコンサート参加等
みらいち	【アートでまちを活性化】土木事務所・まちづくり課職員との情報交換会、「アートでまちづくり」アンケート、トークイベント企画・実施等
ふれぜんとFor You	【新しく転居してきた人にまちの魅力紹介】市民局広報課へのインタビュー、魅力紹介スライド作成等
<b>STOP!!その言動</b>	【いじめのないまちづくり】小学生対象アンケート、いじめ対策プログラム企画・実施、小学校での授業、いじめ防止市民フォーラムでの発表等

45

## 市ケ尾ユースプロジェクト「STOP!! その言動」

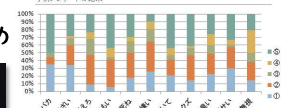
それぞれが考えていることを発散・意見交換



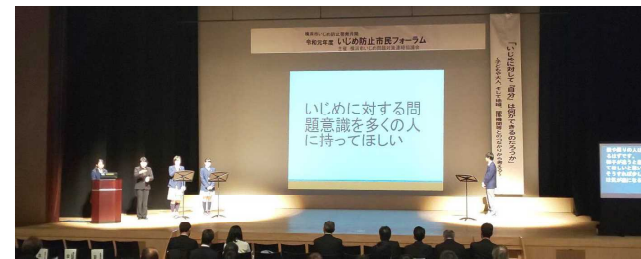
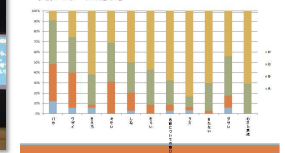
小学校での授業（6年生）

事前アンケート作成・まとめ

言葉を使われてどう感じるか？  
①少しいや ②いや ③とても嫌 ④困る ⑤分からない



次の悪口をどのくらい使うか？  
①よく使う ②たまに使う ③あまり使わない ④使わない



「いじめ防止市民フォーラム」(横浜市)での発表

46



活動報告書は、NPO法人「まちと学校のみらい」のHPでご覧いただけます。47



## コミュニティ・スクールによる成果

### ● 学校経営力の強化

- 学校目標および具体的な取組の明確化
- 授業評価および学校評価の改善
- 教職員等の任用に関する県教委への具申



### ● 教育活動の充実

- 学校運営協議会委員との協働（講座・講演会等）
- 新たな学びのフィールドの創出
- 多世代交流をととした地域課題解決型学習の実現
- 「総合的な探究の時間」のプログラムの充実

### ● 学校・地域・保護者の連携の強化

- 保護者や地域住民への教育活動の周知・理解
- 保護者や地域住民との協働事業の活性化
- 地域とともにある学校としての発展（頼りにされる学校）
- メディア等への掲載

48



## コミュニティ・スクールだからできたこと

### 生徒にとって

- ホンモノとの出会い・学びの広がり
- 中学生・大人との協働による成長
- 達成感・自己肯定感の高まり
- 社会の担い手としての自覚の高まり

### 学校にとって

- 校長の経営方針へのバックアップ
- 多様な人材・組織との協働
- 教職員の地域理解への深まり
- 学校の変革力とその継続性の向上

### 地域にとって

- 高校生が身近な存在に
- 高校生の成長に関われる喜び
- 学校を中心とするネットワークの形成
- 経験を生かすことで得る生きがい

### 保護者にとって

- 学校や地域への理解の深まり
- PTA活動の充実や地域とのつながり
- 地域で子どもが育てられていることへの感謝

49

コミュニティ・スクールになると学校の負担が増える？

学校の不安・・・

## 目次

- 1 はじめに
- 2 学校運営協議会の機能を生かす
- 3 市ヶ尾高校の実践から
  - コミュニティ・スクールの導入
  - 学校運営協議会
  - 主な取組と成果
- 4 コミュニティ・スクールの推進に向けて
- 5 おわりに



50

## コミュニティ・スクールになると負担が増える？

学校経営：最少の労力・資源で最大の成果をあげる

- コミュニティ・スクールの仕組みを正しく理解する
- コミュニティ・スクール本来の機能を十分に生かす
- 今ある「たから」（学校や地域の特色・よさ・人・つながり等）を生かす



52

## 学校運営協議会を生かす

ある中学校区では

区内小中学校の通知表の  
毎学期の所見欄の記載を  
学年末のみに縮小

ある中学校区では

地域の教育資源を生  
かした9年間を見通し  
た学びを体系化



学校運営協議会

ある小学校では

小学校4年生の宿泊  
学習をその目的を継  
承する日帰りの体験  
活動に変更

ある地域では

学校に地域住民が避難した際、委員  
(地域)が地域住民による避難者対応を  
率先(学校は自校の生徒対応に集中)

ある小学校では

「働き方改革」の一環とし  
て教員の業務の効率化や  
業務の仕分け(廃止、重点  
化・簡略化等)を実施

## 大切にしたいPTA活動 ~市ヶ尾高校の事例から~

### ● おやじの会

第1回  
**キャリアアップ**  
講演会  
開催のお知らせ

あなたは、どんな社会人になりたいですか？

進学費用に関する疑問を解決します！  
将来の金に困らない資金計画とは？  
大切なお金の知識を学びましょう！

進学と就職、将来の生活を有意義に過ごすマネープラン

11月5日(?) 13:00~14:00  
進路公開室(中央棟3階)にて

第10回  
**キャリアアップ** 講演会

進学と就職、将来の生活を有意義に過ごすマネープラン

12月14日(金) 15:45~16:45 社会科教室  
たたいま、進路公開室にて  
参加費無料受付中!



保護者が講師を  
務める講演会

学習環境整備  
生徒・保護者・  
教職員の協働

### ● 図書ボランティア



図書館整備

ブラウジング・スペース  
誕生!

POPづくり



英語多読講座

イギリスの約80%以上の小学校で採  
用されている「国語」の教科書、オックス  
フォード・リーディング・ツリー(ORT)を  
活用したやさしい英語多読体験を実施

## スモール・ステップで成長し続ける

一步を踏み出せばさらなる知恵と工夫が生まれる

### 小さな変化を大きな変化に!

「小さな変化」も積み重ねていけばやがては  
「大きな変化」になる

### コミュニティ・スクールを 育てていく

「今できること」を形にして  
バトンをつなぐ



## 校外における推進のポイント

\*市ヶ尾高校の事例から

### ● ネットワーク 管理職のフットワーク

「なぜ」「何のために」の共有  
情報・理解・共感を広げる

### ● 開かれた学校

- 学校運営協議会委員を生かしたネットワーク
- 行政、NPO法人との連携
- 自治会を基盤とする連携
- 地域のキーパーソン
- 様々なツールで積極的な情報発信
- 学校運営協議会議事録のHPへの掲載
- 学校の施設や「学び」の開放



## 校内における推進のポイント

\*市ケ尾高校の事例から

- **校内組織体制** → 事務局とは別に、グループ横断による担当者の配置
- **取組の位置づけ** → 教育活動の中に位置づける  
社会に開かれた教育課程
- **当事者意識の拡大** → 「なぜ」「何のために」の共有  
情報・理解・共感を広げる



## 取組を教育活動の中に明確に位置づける

自ら学び考える主体的な態度と創意工夫して問題を解決する力の育成を目指す生徒の活動のうち、生徒会活動、部活動に属さない継続的な活動を「特別教育プログラム」として位置付けた。(平成30年度)

### 1 市ケ尾ユースプロジェクト2018

中高生と地域の大人(サポーター)がチームを作り、まちの課題解決や魅力アップに挑戦(地域課題解決型学習)。

学校(中・高) × NPO(地域) × 行政(区役所) × 地域

### 2 グローバル・リーダーシップ講座

国際人になるための基礎的素養を学ぶ講座(グローバル教育)。

学校 × 地域(学校運営協議会委員) \*保護者、地域住民も参加

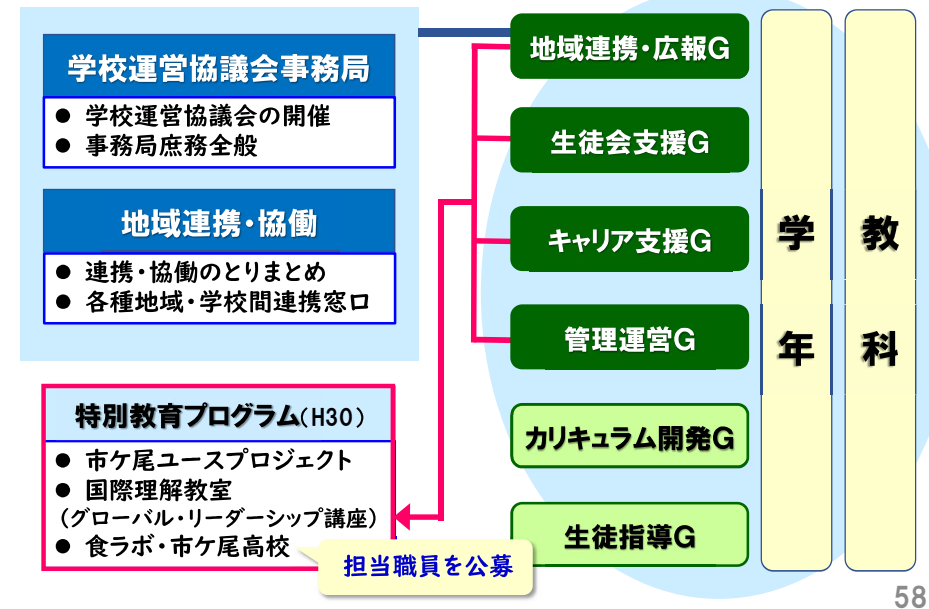
### 3 食ラボ・市ケ尾高校 ~食から世界を考えよう~

「食」とおして、地球温暖化、フードロス等の世界規模の環境問題や身近な地域での地産地消などについて学びを深める講座(食育)。

学校 × NPO(卒業生) × 大学 × 地域 \*保護者も参加

59

## 組織体制の工夫で理解と同僚性を広げる



58

## 「特別教育プログラム」からの発展

平成30年度

### 特別教育プログラム

(有志生徒が参加)

令和元年度

### 総合的な探究の時間

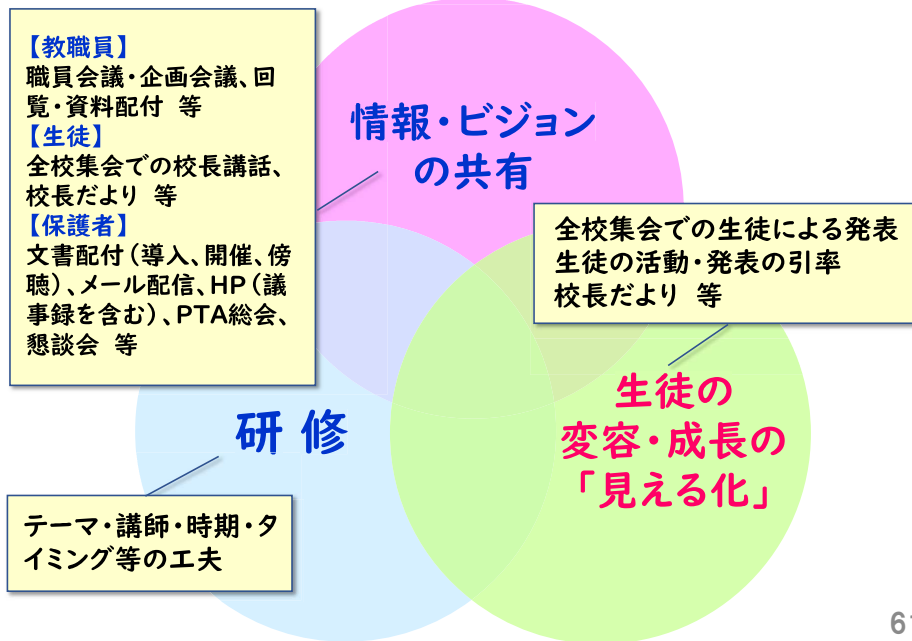
(年次進行で全校生徒が履修)

教育課程研究指定校

社会に開かれた教育課程

60

## 校内における情報・理解・共感を広げる



61

## 目次

- 1 はじめに
- 2 学校運営協議会の機能を生かす
- 3 市ヶ尾高校の実践から
  - コミュニティ・スクールの導入
  - 学校運営協議会
  - 主な取組と成果
- 4 コミュニティ・スクールの推進に向けて
- 5 おわりに



63

## 職場の豊かなコミュニケーション

- オン・ザ・フライ・ミーティング
  - \* 即興的、立ち話的な情報交換・共有
- 同僚からの「一緒にやろうよ」
- 管理職からの労い・感謝・承認



62

## 高校進学率99%が意味すること

高校進学率  
99%

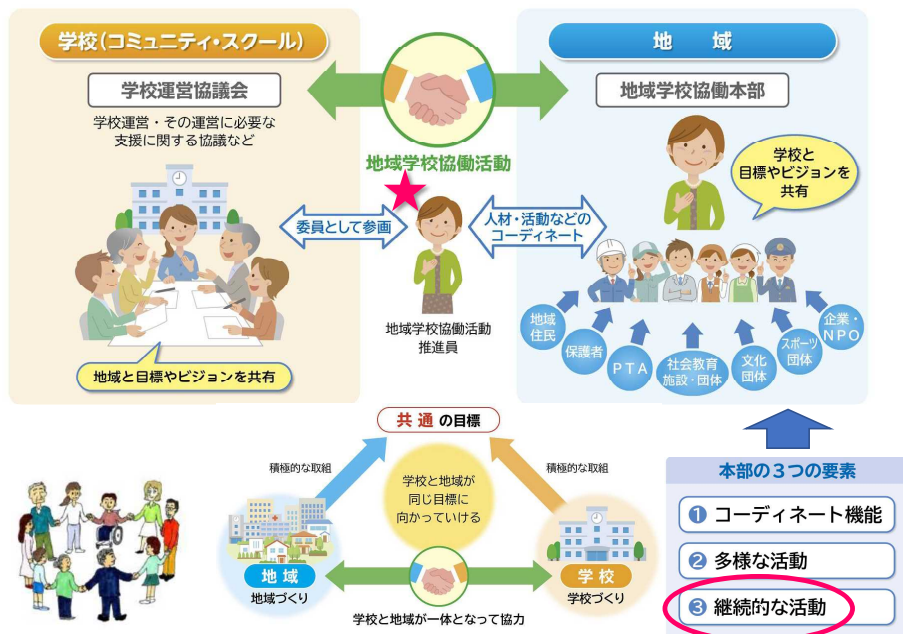
高校は、子どもたちのほぼ全数を把握できる最後の教育機関である

コミュニティ・スクールの仕組みを生かすことで、**困難を抱える子どもたちへの複層的、重層的な支援の可能性**を広げることでもできる

64



## 実現したかったこと：高校でも地域学校協働本部を！

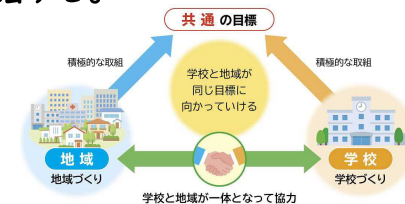


## 地域学校協働本部にかわる工夫

たとえば……

- コーディネーターの役割を担ってくださる方に学校運営協議会委員になっていただく。
- 学校運営協議会委員のネットワークを生かすとともに、各委員がコーディネーターとしての意識を持つ。
- これまでに培ってきたネットワークを生かすとともに、新たなネットワークを広げていく中でコーディネーターの役割を担ってくださる方を発掘する。

まずは私たち大人が  
「だったらどうする」  
を考えたい……



66

## 本気で取り組んだ経験は自分の言葉で語れる

ノルウェーの劇作家ヘンリック・イプセンはこう言いました。  
「社会は一つの船のようなものだ。だれもが舵をとる準備をせねばならない」と。  
そう！地域社会の課題を解決するのも地域を向上させるのにも、行政だけではダメなんです！  
豊かなスキルや経験をもつ大人が活動するだけでもダメなんです！  
活力あふれる中高生が考えるだけでもダメなんです！  
それを実際に行動に起こし！実践し！地域住民を巻き込んで、またそれとともに実現を目指さないと意味がないんです！  
地域を変えるには地域が動かなければならない、一人一人が舵を取って船を動かす、まさにそういうことなんです。

平成29年12月9日 地域教育実践交流会(文部科学省委託事業)における発表  
市ヶ尾ユースプロジェクト高校生のおすびの言葉

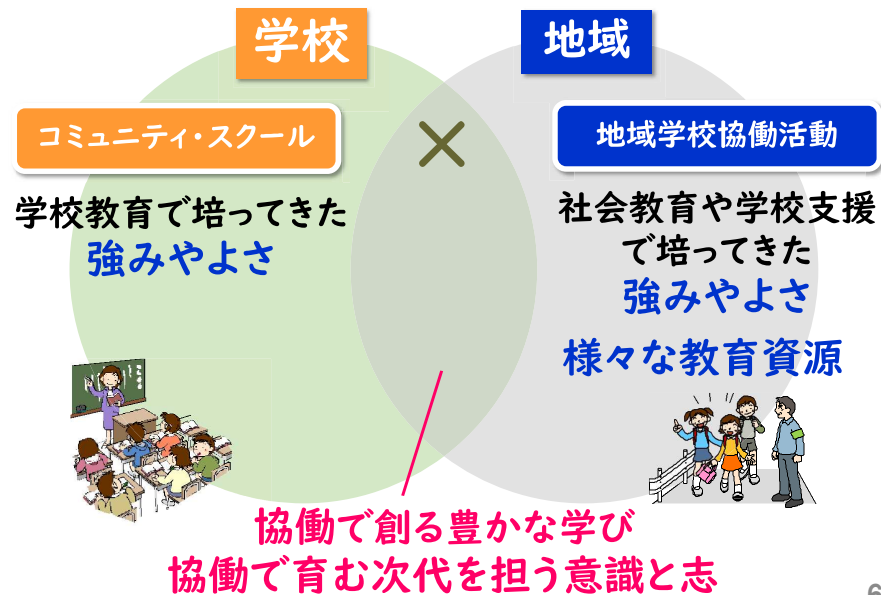
67

誰かが何とかしてくれる、のではなく、  
自分たちが「当事者」として、  
自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。

子供たちのために学校を良くしたい、  
元気な地域を創りたい、  
そんな「志」が集まる学校、地域が創られ、  
そこから、子供たちが自己実現や地域貢献など、  
志を果たしていける未来こそ、  
これからの未来の姿である。

平成27年12月 中央教育審議会答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」おわりに

68



1 自校におけるコミュニティ・スクールの  
意義を再確認する

10段階:

2 コミュニティ・スクールのイメージをさらに  
広げる

10段階:

3 自校の取組に生かせるヒントを最低一つ  
は持ち帰る

## ワーク ②

今日のお持ち帰りを共有しましょう



「学校運営協議会」は学校の  
心強いパートナー  
コミュニティ・スクールの  
可能性は無限大

# さらに魅力ある学校へ！

ご清聴ありがとうございました

# 【付録】コミュニティ・スクール 地域学校協働活動 ～ 学校と地域でつくる学びの未来ホームページ (文部科学省) ～



未来を担う子供たちの豊かな学びや成長を支えるためには、地域と学校がパートナーとして連携・協働することが重要です。本サイトでは、国の取り組み、地域と学校が連携・協働した事例、企業・団体・大学等の方学校と協働するためのツール、イベントの情報、等を掲載しています。



<https://manabi-mirai.mext.go.jp/> もしくは“学びの未来”で検索

73

## 地域学校協働活動に関する参考資料

### 『地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン(参考の手引)』

教育委員会における、地域学校協働本部の整備、地域学校協働活動推進員等の確保・質の向上、学校・地域住民に対する情報提供、安全・安心な活動の推進といった事項について、様々な地域における先進的な事例の紹介。



平成29年4月

### 『地域学校協働活動ハンドブック』

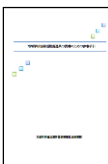
地域学校協働活動推進員として活動する方や、幅広い地域住民の方々に、それぞれの地域や学校の特色を生かしつつ、地域学校協働活動を推進していく際の参考となるよう、様々な活動の事例や必要な知識を紹介。



平成30年1月

### 『地域学校協働活動推進員の委嘱のための参考手引き』

教育委員会において、地域の実情や特色を踏まえて地域学校協働活動推進員の委嘱がスムーズに行われるよう、委嘱の手続き等について具体例を示しながら紹介。



平成29年9月

### 『地域学校協働活動パンフレット』

幅広い地域住民の方々に地域学校協働活動について理解していただけるよう、社会教育法改正までの経緯や全国地域学校協働活動の実施状況、活動をしている方々の声を含めて紹介。



平成30年1月

参考URL <https://manabi-mirai.mext.go.jp/>

学びの未来

75

## コミュニティ・スクールに関する資料

### ◇ コミュニティ・スクール、地域学校協働活動パンフレット2020

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動等の基本的事項について説明。



### 文部科学省コミュニティ・スクール地域学校協働活動Facebook



各自治体の取組や最新の情報を掲載。



<https://www.facebook.com/community.school.mext/>

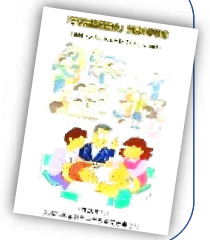
### ◇ 地域みんなで子供たちの未来を考えるワークショップのすすめ

学校と地域の協働の機運を高めるために必要なのは、多くの関係者が目標やビジョンを共有すること。このガイドブックでは、「熟議」を通じたワークショップのポイントや進行方法を解説。



### ◇ 学校運営協議会設置の手引き

コミュニティ・スクール導入を目指す教育委員会事務局や学校管理職向けのガイドブック。導入にあたって必要な準備や運営のポイント等を詳しく解説。



学びの未来

74



76